

京の地で守られた世界の“コロタイプ”プリント
HARIBAN AWARD 2014 最優秀賞受賞者
コロタイプ写真作品をホテル館内で展示

京都ホテルオークラ（本社：京都市中京区 ㈱京都ホテル、東証2部上場、代表取締役社長 福永法弘）では、4月23日（木）～5月10日（日）の期間、京都国際写真祭「HARIBAN AWARD2014」最優秀賞を受賞したオランダ人女性写真家 アヴォイスカ・ヴァン・デル・モレン氏が職人とともに作り上げたコロタイプ写真作品の展示場所としてホテル地下1階スペースを提供いたします。

京の地で守り伝えられてきた19世紀の古典プリント技法「コロタイプ」と気鋭の写真家の感性が出会い誕生した珠玉の8作品をお楽しみください。

<期間> 2015年4月23日（木）～5月10日（日）

※4月18日（土）～4月22日（水）の期間は臨濟宗保水山廣誠院で展示（有料）

<場所> 京都市中京区河原町御池 京都ホテルオークラ 地下1階（観覧無料）

<主催> ㈱ 便利堂

◆「コロタイプ」と「HARIBAN AWARD」

「コロタイプ」とは、写真草創期の19世紀にフランスで生まれた印刷技術。顔料比率の高いインキによって実現する高い保存性と、網点の無い連続階調によるなめらかなで深みのある質感が特長です。ガラスの板を原板に用いることから、日本では「玻璃版（はりばん）」とも呼ばれていました。

1887年創業の㈱便利堂（本社：京都市中京区）では世界的にも希少となったこの「コロタイプ」の技法を用い国内外の美術館、博物館の美術品や書簡の複製を数多く手がけてこられました。2014年には、「コロタイプ」の美術的価値と伝統を後世へ伝えるべく、便利堂が主催者となり第1回目の国際写真コンペティション「HARIBAN AWARD」を開催。世界各国131名の応募者の中から最優秀賞受賞者に選ばれたアヴォイスカ・ヴァン・デル・モレン氏には、2週間の京都滞在の中でコロタイプ職人とともに8作品を制作する機会が与えられました。

※「HARIBAN AWARD」は第2回目も開催され、2015年4月18日（土）より応募がスタートします。

◆ Awoiska van der Molen（アヴォイスカ・ヴァン・デル・モレン）氏略歴

1972年オランダ・フローニンゲン生まれ。フローニンゲンの the Dutch Academy of fine Arts Minerva にて建築と写真を学ぶ。NY市立大学写真学科を経て、2003年オランダ St. Joost Academy Breda にて写真学の修士課程を修了。

2011年フランス・イエール写真フェスティバルファイナリスト、同年スイス Alt.+1000 写真フェスティバル competition 受賞。現在はアムステルダムとイタリア・ウンブリアを拠点に活動中。



Awoiska van der Molen
Untitled 351-10 2013